

数字で見る 平成27年度の まちづくり

平成27年度決算を 報告します

平成27年度一般会計決算及び五つの特別会計決算が、9月議会にて認定されました。一般会計は歳入が213億5787万4千円、歳出が207億9465万7千円で、形式収支は5億6321万7千円の黒字でした。また、形式収支から翌年度に繰り越すべき事業の費用6118万9千円を差し引いた実質収支は5億202万8千円の黒字でした。今月は、この決算額から福津市のお金がどのように使われたかお知らせします。それでは、市財政課職員の花子さんと新規採用職員の太郎さんに、平成27年度の決算について説明してもらいましょう。



福間太郎
新規採用職員。市役所の仕事を勉強中

歳入、歳出とも
前年度より増加



津屋崎花子
市財政課職員。予算の編成などを担当している

語句の説明

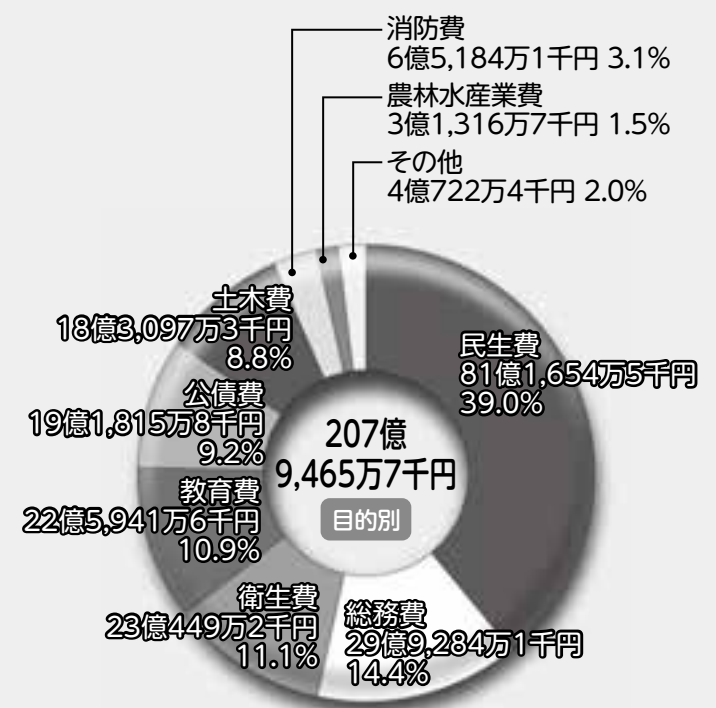
- **一般会計** 市の運営の基本的な経費を計上する会計
- **特別会計** 特定の事業を行う場合に一般会計と区別して経理する会計。市には五つの特別会計があります
- **市税** 市民税や固定資産税、軽自動車税などに市に納められた税金
- **地方交付税** 地方公共団体が等しく行政サービスを提供することができるように一定の基準により国から配分されたお金
- **国庫支出金** 市が実施する特定の事業に対し、国から交付されたお金
- **市債** 市が行う公共事業などの財源として、国などから借りたお金

予算のことを広報ふくつ5月号で教えていただきましたが、今度は決算ですか。決算ってどんなものなんですか。
決算は、年度の始まりの4月から翌年3月までの1年間に、市の収入がどれくらいあったのにお金を使ったかを数字で表したものです。家庭で言えば、1年間家計簿をつけた結果みたいなものね。
なるほど。では、昨年度福津市のお金はどういうに動いたのか教えてください。
まずは歳入のグラフを見て。市の収入には独自で調達する自主財源と、国や県からもらう依存財源があるの。大きな割合を占めるのが市税の27.6%、地方交付税の24.9%ね。歳入は前年度から4.1%増だったわ。主な要因は、市債と国庫支出金の対象となる事業が多かったことで、市債が30.7%、国庫支出金が11.1%増加したことね。それと、割合は小さいけれど、寄附金はふるさと納税のおかげで2440.7%の大幅増だったよ。

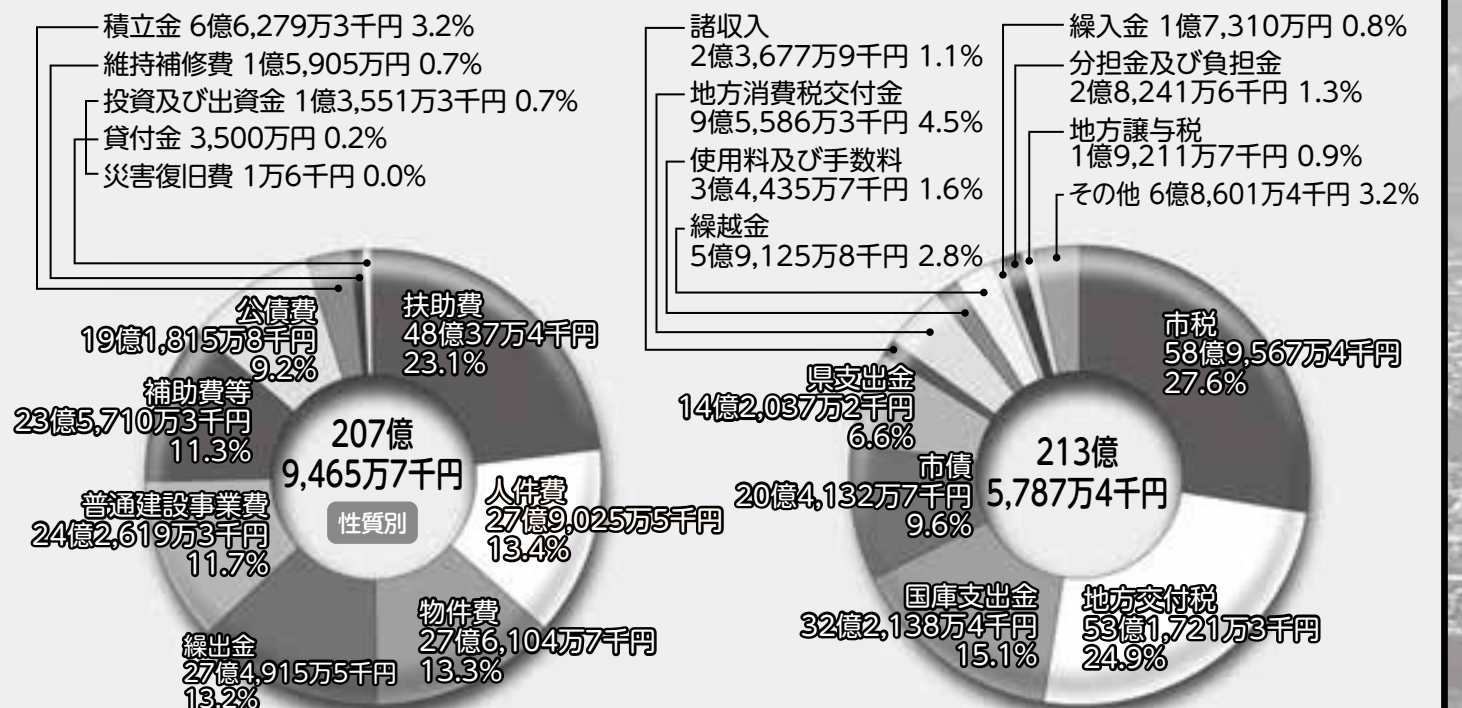
特別会計

区分	決算額
国民健康保険事業	歳入 80億3,201万8千円
	歳出 80億2,500万4千円
	差引 701万4千円
後期高齢者医療事業	歳入 8億8,578万7千円
	歳出 8億7,679万2千円
	差引 899万5千円
介護保険事業	歳入 44億981万円
	歳出 43億3,703万2千円
	差引 7,277万8千円
公共下水道事業	歳入 33億45万3千円
	歳出 32億6,176万1千円
	差引 3,869万2千円
住宅新築資金等貸付事業	歳入 1,236万9千円
	歳出 549万円
	差引 687万9千円

一般会計 歳出



一般会計 歳入



指標から見る 財政状況

各種指標		平成27年度	平成26年度
財政力指数		0.546	0.533
経常収支比率		92.5	92.4
健全化判断比率	実質赤字比率	-	-
	連結実質赤字比率	-	-
	実質公債費比率	5.4	5.7
	将来負担比率	-	16.7
資金不足比率		-	-

※健全化判断比率、資金不足比率を財政健全化を定めた法律の規定で公表します。実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は、赤字または不足が生じていないため「-」と表示しています。将来負担比率は、基金等の額が将来負担額を上回るため、「-」と表示しています。

① 財政力指数

財政が豊かであるかどうかをみる指標です。市税などの標準的な収入で、合理的に行政を行った場合の費用をどれだけまかなえるかを表し、過去3年間の平均数値を使います。この数字が「1」に近いほど財政力が強いとされます。

② 経常収支比率

どれだけ自由に使えるお金があるかをみる比率です。毎年決まって入ってくるお金(経常的収入)が給与や市債の返済などの毎年決まって支払うお金(経常的支出)にどれだけ使われているかの割合を示しています。

③ 実質赤字比率

普通会計の赤字額から財政運営の深刻度をみる比率です。

④ 連結実質赤字比率

すべての会計の赤字額から財政運営の深刻度をみる比率です。

⑤ 実質公債費比率

借金の返済額などの大きさから資金繰りの危険度をみる比率です。18%以上になると地方債の発行に国、県の許可が必要になり、25%以上になると一部の地方債の発行が制限されます。

⑥ 将来負担比率

負債の残高から将来財政への圧迫度をみる比率です。350%を超えると健全化計画の策定を行い、財政の健全化を図らなければなりません。

⑦ 資金不足比率

企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率です。

- **教育費** 公立学校や幼稚園、図書館などの維持、整備や社会教育に使われたお金
- **土木費** 道路や公園などの維持・整備に使われたお金
- **扶助費** 生活保護費や児童手当、障がい者支援費などに使われたお金
- **人件費** 職員の給与や手当、議員や各種委員の報酬などに使われたお金
- **物件費** 備品購入や消耗品費、業務の委託などに使われたお金
- **積立金** 基金(市の貯金)の積立に使われたお金

- **民生費** 高齢者や障がい者、児童等の福祉などに使われたお金
- **総務費** 総務管理、財産管理、企画、賦課徴収などに使われたお金
- **衛生費** ごみ・し尿処理、健康増進などに使われたお金

語句の説明

住みよい豊かな まちづくりのために

対策や高齢化対策などさまざまな行政需要の増大が予想されるわ。これらに対応するために、まずは財務体質を強化することが重要よ。歳入面では、市税の滞納対策や遊休資産の売却などの増収策を講じていかないとね。歳出面では、増大傾向にある物件費などの経常経費をできるだけ抑制するなど、福津市第2次行財政改革大綱に基づいた行財政改革に取り組んで、効率的な行政経営を図っていく必要があるわ。

限られたお金、大切に使うっていいかなといけないな。僕もがんばります。

それでは、実際にどんなことにお金が使われたんですか。目的別のグラフは総務費、民生費などの使う目的で分けたもので、性質別のグラフは人件費、扶助費などの性質で分けたものよ。歳出は前年度に比べ4・3%増だったわ。建設事業費の減少などに伴い土木費は36・4%減だったけれど、総務費は庁舎統合整備事業や基金への積立金の増加に伴い45・8%の増、教育費が福間南小の校舎や給食室の増築工事、津屋崎中学校体育館の改修工事などで19・4%の増だったことが、全体で前年度より増加した主な要因ね。性質別で見ると、大きな割合を占めるのが私立保育所運営委託料や生活保護費などの扶助費で11・5%の増、人件費で2・2%の増ね。昨年度に行った主な事業を下の表にまとめているから見てみてね。

さまざまな分野の事業がありますね。まちづくりにはいろいろなことにお金が必要なんですわ。

そうですね。今後も人口増加が見込まれるけど、児童増

平成27年度に行った主な事業

小・中学校施設大規模改造事業

日蔭野地区の児童数の増加に対応するため、福間南小学校の校舎増築工を行いました。また、津屋崎中学校体育館では吊天井の耐震化のための改修工を行い、福間小学校では教室棟の耐力度調査を行いました。



▲福間南小学校の増築棟

小学校給食施設整備事業

福間南小学校の給食室増築工事、厨房備品等の整備を行いました。

認可保育所定数確保事業

市立保育所の定数増加に対応するため、大和保育所の改修工を行いました。また、新設保育所の整備費に対する補助を行いました。

JR福間駅東口駐輪場整備事業

JR福間駅さいごう口側に、公共交通機関の利用が円滑にでき利用者が安心して預けることができるよう、収容台数 651 台の駐輪場の整備を行いました。

庁舎統合整備事業

庁舎統合に向けて、福間庁舎の改修や増築棟の工事をを行いました。



▲6月に庁舎が統合されました

世界遺産登録活動・周知事業

「『神宿の島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」が世界文化遺産登録の国内推薦に決定されたことを受け、1月にユネスコへ推薦書の提出を行いました。また、各種イベントでのパンフレット配布や広報紙での折り込みチラシ配布、市内の事業者と協力をもらいPRのほり掲出するなどの周知活動を行いました。

消防団装備充実化事業

「消防団を中核とした地域防災力の充実化に関する法律」が施行されたことを受け、特定小電力トランシーバーと車載型受令機・移動系無線の配備を行いました。

津屋崎庁舎再生整備事業

庁舎統合後の津屋崎庁舎を、市民生活の拠点とにぎわいを生む複合施設として再生整備するため、平成 26 年度に引き続き基本設計を行うとともに、実施設計を行いました。

福津ブランド戦略事業

市の認知度・知名度向上のため、統一的な地域ブランド化に取り組みました。RKBラジオ番組でのPR活動(年24回)、JR博多駅や大型店舗などでのイベントの開催を行いました。



▲JR博多駅での福津ぶらり市